

議事

(1) 協議事項

協議第1号

令和3年度伊豆の国市自主運行バスの運行について… 1P - 5P

協議第2号

単独継続困難の申し出系統について … 7P - 8P

協議第3号

観光周遊型韮山反射炉循環バスの運行内容の変更について

… 9P - 10P

令和 3 年度伊豆の国市自主運行バスの運行について

令和 3 年度伊豆の国市自主運行バスの運行計画について、本会議の検討・調整結果を静岡県生活交通確保対策協議会に報告するため、市自主運行バスの路線に係わる内容を次のとおり協議する。

1 協議事項（運行継続の可否）

(1) 協議事項 1-1

系統番号①～④に関する千代田団地～葦山駅～奈古谷温泉口線は、運行を継続する。

(2) 協議事項 1-2

系統番号⑤～⑩に関する亀石峠～大仁駅前・修善寺駅線は、運行を継続する。

(3) 協議事項 1-3

系統番号⑪伊豆長岡駅・星和立花台線は、運行を継続する。

(4) 協議事項 1-4

系統番号⑫田京駅・立花線は、運行を継続する。

2 伊豆の国市自主運行バスの系統番号及び路線系統名称等

系統番号	路線（系統）名	令和 3 年度に向けた協議
①	千代田団地・葦山駅線（保健センター経由）	継続運行
②	千代田団地・葦山駅線（江間経由）	
③	奈古谷温泉口・千代田団地線（葦山駅経由）	
④	奈古谷温泉口・葦山駅線（江川邸経由）	
⑤	大仁駅前・田原野線（浮橋経由）	継続運行
⑥	修善寺駅・田原野線（田京駅・浮橋経由）	
⑦	修善寺駅・亀石峠線（浮橋・長者原経由）	
⑧	修善寺駅・亀石峠線（田京駅・長者原経由）	
⑨	大仁駅前・亀石峠線（浮橋・長者原経由）	
⑩	大仁駅前・亀石峠線（田京駅・長者原経由）	
⑪	伊豆長岡駅・星和立花台線（星の花号）／予約型乗合タクシー	継続運行
⑫	田京駅・立花線（立花 Go!）／予約型乗合タクシー	継続運行

3 今後のスケジュール

- ・ 令和 3 年 1 月 13 日 市地域公共交通会議（本日）
- ・ 令和 3 年 1 月 15 日 県協議会への協議結果報告
- ・ 令和 3 年 2 月下旬 県生活交通確保対策協議会
- ・ 令和 3 年 3 月中旬 市自主運行バスに関する契約の締結
- ・ 令和 3 年 4 月 1 日 令和 3 年度運行の開始

【(1) 協議事項 1-1】

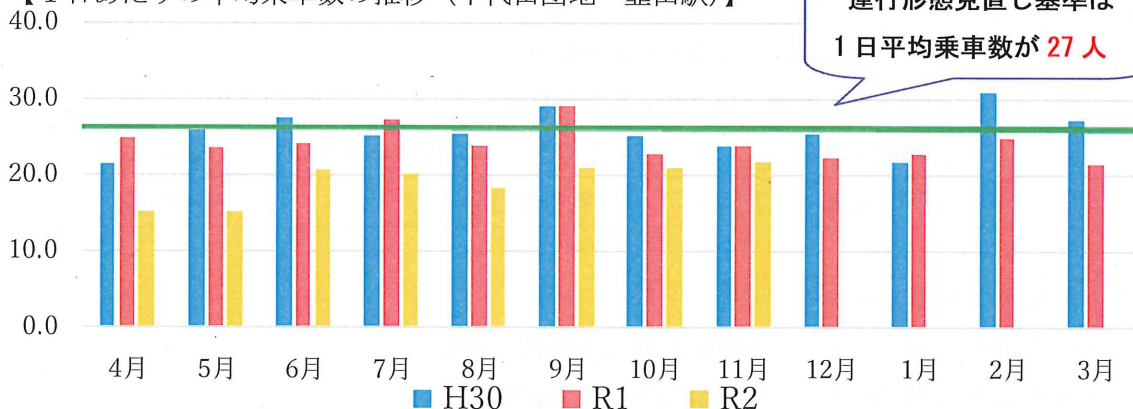
1 協議理由

系統番号①～④に関する千代田団地～葦山駅～奈古谷温泉口線は、児童の通学が多くあると同時に地域住民の日常生活の移動手段として利用されているため、運行を継続する。

2 運行概要（令和2年度の運行実績）

路線概要		千代田団地から葦山駅間及び葦山駅から奈古谷地区間を往復し、千代田区及び奈古谷区並びに大仙区から駿豆線葦山駅に接続する運行。					
系統	路線 (経由地)	系統 キロ程	運行回数 /日	運行日数 /年	平均乗車 密度/人	運 行 時間帯	主な利用者 や利用目的
①	千代田団地	5.2/5.0	3.9	289	1.1	9:10 ~ 18:57	高齢者による買 物や通院等
	保健センター						
	葦山駅						
②	千代田団地	3.9	0.7	289	2.4	6:50 ~ 8:05	葦山駅への通勤
	江間						
	葦山駅						
③	奈古谷温泉口	10.0	0.8	289	2.2	7:19 ~ 14:35	小学生による通 学 高齢者による買 物や通院等
	葦山駅						
	千代田団地						
④	奈古谷温泉口	4.9	3.1	289	1.3	11:39 ~ 16:50	小学生による通 学 高齢者による買 物や通院等
	江川邸						
	葦山駅						
運行事業者		伊豆箱根バス株式会社					
乗降調査日		令和2年6月23日(火)					
路線統合		平成30年度に葦山循環線と千代田団地・葦山駅線の路線を統合した。					

【1日あたりの平均乗車数の推移（千代田団地～葦山駅）】



3 令和3年度計画

路線統合による利用者の利用状況を把握しつつ、ウィズコロナを見据えた利用促進及び啓発施策等を展開する。

【(2) 協議事項 1-2】

1 協議理由

系統番号⑤～⑩に関する亀石峠～大仁駅前・修善寺駅線は、遠距離通学になる児童や生徒の通学が多くあると同時に、山間地域住民の日常生活の移動手段として利用されているため、運行を継続する。

2 運行概要（令和2年度の運行実績）

路線概要		当市東部山間地域の東端に位置する亀石峠から山間地域、田京駅、大仁駅前を經由して、修善寺駅に接続する運行。					
系統	路線 (経由地)	系統 キロ程	運行回数 /日	運行日数 /年	平均乗車 密度/人	運行 時間帯	主な利用者 や利用目的
⑤	大仁駅前	12.0	1	203	0.3	7:16	小学生による通学
	浮橋						
	田原野						
⑥	修善寺駅	18.0	1	203	0.0	7:36	早朝の折り返し便
	田京駅・浮橋						
	田原野						
⑦	修善寺駅	20.3	2	297	0.7	17:20 18:30	山間地域や沿線地域の小中学生による通学、高齢者による買物や通院等
	浮橋・長者原						
	亀石峠						
⑧	修善寺駅	22.4	3	297	1.9	8:16 15:27 16:27	6:22発は中学生の利用が多い
	田京駅・長者原						
	亀石峠						
⑨	大仁駅前	16.4	4	297	1.1	6:58/7:39 16:16 17:40	6:58発は小学生の利用が多い
	浮橋・長者原						
	亀石峠						
⑩	大仁駅前	18.5	3	203 (297)	2.2	6:22 17:20 18:30	
	田京駅・長者原						
	亀石峠						
運行事業者		株式会社東海バス					
乗降調査日		令和2年6月18日(木)					
備考		特段の変更なし（平成29年度に運行経路の一部を延長し、駿豆線田京駅に接続した運行とした）					

3 令和3年度計画

引き続き、ウィズコロナを見据えた利用促進及び啓発施策等を展開する。

【(3) 協議事項 1-3】

1 協議理由

系統番号⑪伊豆長岡駅・星和立花台線は、一部運行継続基準である数値を達成していないが、今年度においては外的要因（新型コロナウイルス感染症）によるところが大きいため、来年度はウィズコロナを見据え、利用促進対策と感染対策の両方を講じながら運行を継続する。

2 運行概要（令和2年度の運行実績）

路線概要		当市平野部のほぼ中央に位置した小高い丘の上にある住宅街から伊豆箱根鉄道駿豆線伊豆長岡駅に至る路線。 区域運行による予約型乗合タクシー制度として運行。					
系統	路線	系統 キロ程	運行回数 /日	運行日数 /年	平均乗車 人数/人	運行 時間帯	主な利用者 や利用目的
⑪	伊豆長岡駅	3.0	6 (往路3)	312	1.46	9:00 ~ 13:00	星和立花台地区 の高齢者が買い 物や通院等の外 出に利用
	星和立花台		6 (復路3)			12:00 ~ 16:30	
乗車運賃		大人 400 円（1 便に 2 人以上乗車で 100 円引き） 小人 200 円、障がい者：半額、未就学児無料					
運行事業者		伊豆箱根交通株式会社					
備考		停留所の追加（⑮ウエルシア前／平成 30 年 9 月～）					

3 運行継続基準値及び総合評価（伊豆の国市予約型乗合タクシー運用基準から準用）

項目	平均乗車人数	収支率	運行稼働率	備考
基準値	1.5 人以上	37%以上	30%以上	—
実績値	1.46 人	31.8%	31.5%	4/1～11/30
数値評価	3 点	2 点	4 点	各 5 点満点
総合評価	D（小計 4～5 点）		B（3 点）	評価範囲 A～E
	DB 評価：どちらかに D・E 評価がある場合、事業の大幅又は抜本的な見直しが必要である。または他に替わる交通システム等を検討する。			

- ・月平均利用延べ人数 71.9 人 ・月平均運行便数 49.1 便
- ・月平均運行経費 73,525 円/月（内訳 市：50,162 円/月、利用者：23,363 円/月）

4 令和3年度計画

低下した運行稼働率等を回復させるため、地元自主運営組織である星の花号コミュタク委員会とともに、ウィズコロナを見据えた利用促進及び啓発施策等を展開する。

【(4) 協議事項 1 - 4】

1 協議理由

系統番号⑩田京駅・立花線は、運行継続基準である数値を達成していないが、今年度においては外的要因（新型コロナウイルス感染症）によるところが大きいため、来年度はウィズコロナを見据え、利用促進対策と感染対策の両方を講じながら運行を継続する。

2 運行概要（令和2年度の運行実績）

路線概要		当市平野部のほぼ中央に位置した小高い丘の上にある住宅街から伊豆箱根鉄道駿豆線田京駅に至る路線。 区域運行による予約型乗合タクシー制度として運行。					
系統	路線	系統 キロ程	運行回数 /日	運行日数 /年	平均乗車 人数/人	運 行 時間帯	主な利用者 や利用目的
⑩	田京駅	2.0	6 (往路 3) (復路 3)	196	1.23	8:30 ~ 13:30	立花地区の高 齢者が買い物や通 院等の外出に利 用
	立花					11:30 ~ 15:30	
乗車運賃		大人 400 円（1 便に 2 人以上乗車で 100 円引き） 小人 200 円、障がい者：半額、未就学児無料					
運行事業者		伊豆箱根交通株式会社					
備 考		本格運行 令和2年7月～					

3 運行継続基準値及び総合評価（伊豆の国市予約型乗合タクシー運用基準から準用）

項目	平均乗車人数	収支率	運行稼働率	備考
基準値	1.5 人以上	37%以上	30%以上	—
実績値	1.23 人	31.3%	27.7%	7/1～11/30
数値評価	2 点	2 点	3 点	各 5 点満点
総合評価	D (小計 4～5 点)		C (3 点)	評価範囲 A～E
	DC 評価：どちらかに D・E 評価がある場合、事業の大幅又は抜本的な見直しが必要である。または他に替わる交通システム等を検討する。			

- ・月平均利用延べ人数 44.6 人 ・月平均運行便数 36.2 便
- ・月平均運行経費 52,164 円/月（内訳 市：35,844 円/月、利用者：16,320 円/月）

4 令和3年度計画

低下している運行稼働率等を回復させるため、地元自主運営組織である立花号乗合タクシー委員会とともに、ウィズコロナを見据えた利用促進及び啓発施策等を展開する。

単独継続困難の申し出系統について

伊豆箱根鉄道伊豆長岡駅から伊豆長岡温泉を經由し、伊豆三津シーパラダイス間を結ぶ「長岡伊豆三津シーパラダイス線」について、バス事業者（伊豆箱根バス株式会社）が、欠損額の増大により9月末に静岡県生活交通確保対策協議会へ単独継続困難の申し出をしたため、当該路線に係る市としての検討を次のとおり協議する。

1 協議事項（運行存続の可否）

当該路線について、存続は必要である（または不必要である）。

2 当該路線の概要

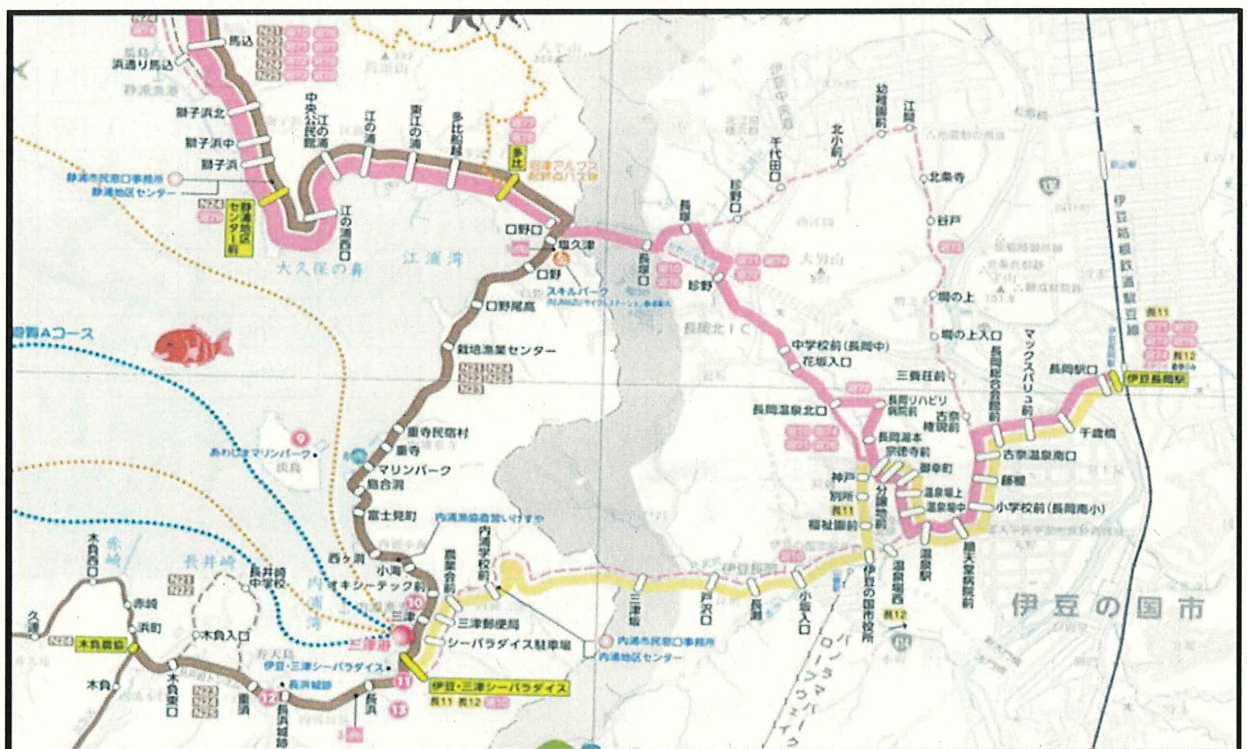
(1) 運行概要

伊豆の国市の伊豆長岡駅～沼津市の内浦・三津地区を結び2市を跨いで運行している。

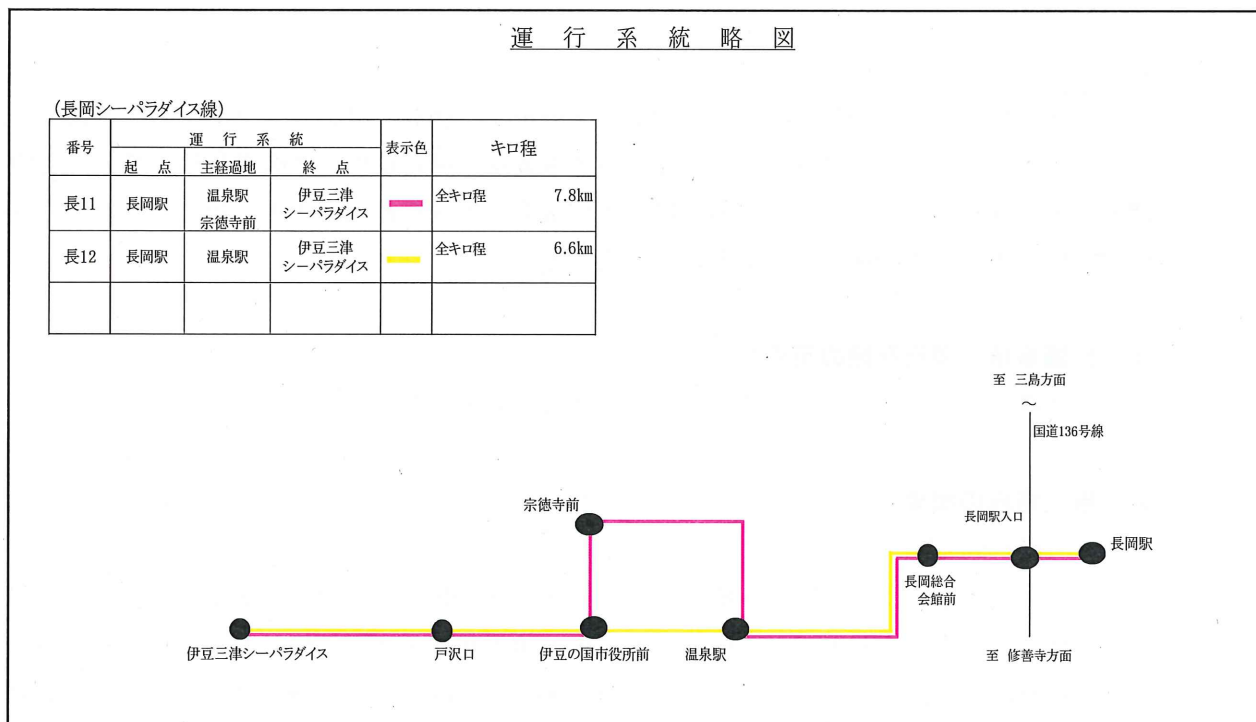
伊豆の国市内の沿線には、伊豆長岡温泉・順天堂大学病院・伊豆の国市役所等、観光・宿泊施設、病院、公共施設が点在しており、観光利用も一定程度あるものの、多くは通勤・通学・通院等の生活交通として利用されている。

当該路線は、伊豆の国市内の利用のみで完結する利用者も多くいるが、沼津市内～伊豆の国市内間をバスで移動し、伊豆長岡駅から電車に乗り換えて、三島方面への通勤・通学で利用されるケースも多く見受けられる。

(2) 路線図



(3) 運行系統図



(4) 乗車人員や欠損額等

	運行系統			区分	実車走行	乗車	経常	経常	欠損額
	起点	通過地	終点		キロ	人員	費用	収入	
					(km)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)
長岡伊豆 三津シー パラダイ ス線	長岡 駅	温泉駅 宗徳寺	伊豆三津 シーパラ ダイス	元年度	105,323	155,718	38,027	34,315	3,712
				2年度	91,907	112,699	33,183	25,115	8,068
				3年度	90,971	113,145	32,845	25,154	7,691
	長岡 駅	温泉駅	伊豆三津 シーパラ ダイス	元年度	7,194	5,397	2,597	1,140	1,457
				2年度	6,672	1,839	2,409	672	1,737
				3年度	6,388	1,820	2,307	662	1,645
小計				元年度	112,517	161,115	40,624	35,455	5,169
				2年度	98,580	114,538	35,592	25,787	9,805
				3年度	97,360	116,785	35,152	25,816	9,336

3 関係する地域への説明及び意向確認

- ・ 12月15日 小坂区長(水口様) 対応: 政策戦略課 遠藤・久保田
意向/回答: 区民の利用は少ないかもしれないが、継続運行を希望する。
- ・ 12月16日 戸沢区長(太田様) 対応: 政策戦略課 遠藤・久保田
意向/回答: 利用している区民のため、継続運行を希望する。
- ・ 12月17日 長瀬区長(伊奈様) 対応: 政策戦略課 遠藤・久保田
意向/回答: 通学等で利用している学生もいるため、継続運行を希望する。

観光周遊型葦山反射炉循環バスの運行内容の変更について

観光周遊型葦山反射炉循環バスの停留所の一部を廃止し、それに伴う運行経路及び時刻、乗車運賃の設定について協議する。

1 協議事項

(1) 協議事項3-1 (停留所の廃止)

- ① 葦山いちご狩りセンターが令和2年9月末で閉業したことに伴い、当該停留所を廃止する。
- ② 停留所を廃止することに伴い、運行経路を変更する。(3 運行経路図を参照)

(2) 協議事項3-2 (時刻の変更)

- ① 停留所を廃止することに伴い、時刻の変更をする。
- ② 併せて、乗車人数が少ない第1便を廃止する。

【変更案】

	1便	2便	3便	4便	5便
伊豆長岡駅	10:00	10:55	11:50	13:30	14:25
葦山反射炉	10:08	11:03	11:58	13:38	14:33
蛭ヶ島公園	10:13	11:08	12:03	13:43	14:38
江川邸	10:18	11:13	12:08	13:48	14:43
JAグリーンプラザ伊豆の国	10:20	11:15	12:10	13:50	14:45
葦山駅	10:26	11:21	12:16	13:56	14:51
北条の里	10:30	11:25	12:20	14:00	14:55
伊豆長岡駅	10:40	11:35	12:30	14:10	15:05

【変更前】

	1便	2便	3便	4便	5便	6便
伊豆長岡駅	9:15	10:15	11:10	12:40	13:30	14:20
葦山反射炉	9:25	10:25	11:20	12:50	13:40	14:30
蛭ヶ島公園	9:30	10:30	11:25	12:55	13:45	14:35
江川邸	9:35	10:35	11:30	13:00	13:50	14:40
葦山いちご狩りセンター	9:37	10:37	11:32	13:02	13:52	14:42
JAグリーンプラザ伊豆の国	9:38	10:38	11:33	13:03	13:53	14:43
葦山駅	9:44	10:44	11:39	13:09	13:59	14:49
北条の里	9:48	10:48	11:43	13:13	14:03	14:53
伊豆長岡駅	9:58	10:58	11:53	13:23	14:13	15:03

(3) 協議事項3-3 (乗車運賃)

変更なし：1日乗り放題 300円/人

(4) 協議事項 3-4 (適用する期間)

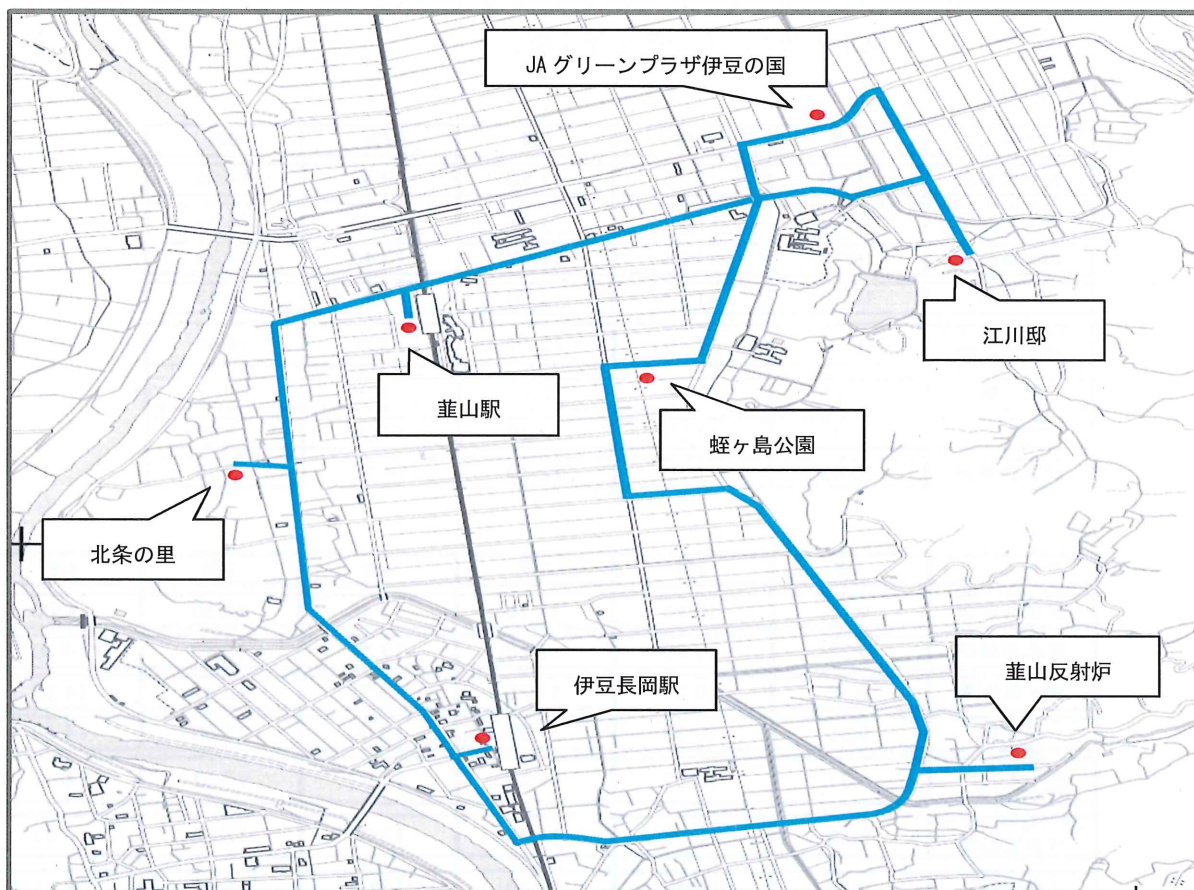
令和3年4月1日から適用する

2 経緯及び現状 (協議理由)

観光周遊型韮山反射炉循環バスは、世界遺産韮山反射炉をはじめ、市内の名所・史跡を効率よく周遊できる観光型バスとして、道路運送法の許可(一般乗合旅客自動車運送事業)を受けて平成27年11月から運行を開始した。その後、平成29年10月には乗車運賃の改定、平成31年4月には停留所の追加等を経て現在の運行内容に至る。

しかし、令和2年9月末に韮山いちご狩りセンターが閉業となり、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、周辺施設への観光客は激減し、当該バスの利用者も減少している現状にある。それに伴い、1日の運行6便のうち、最も利用が少ない第1便を減便し、より利用状況に即した効率的な運行に努める必要性がある。

3 運行区域図



4 運行実施日までのスケジュール

- ・令和3年1月13日 地域公共交通会議 (本日)
- ・令和3年3月～ パンフレット配布、PR周知(広報誌掲載)、市HP、SNS等
- ・令和3年4月1日～ 新規時刻表等による運行開始